

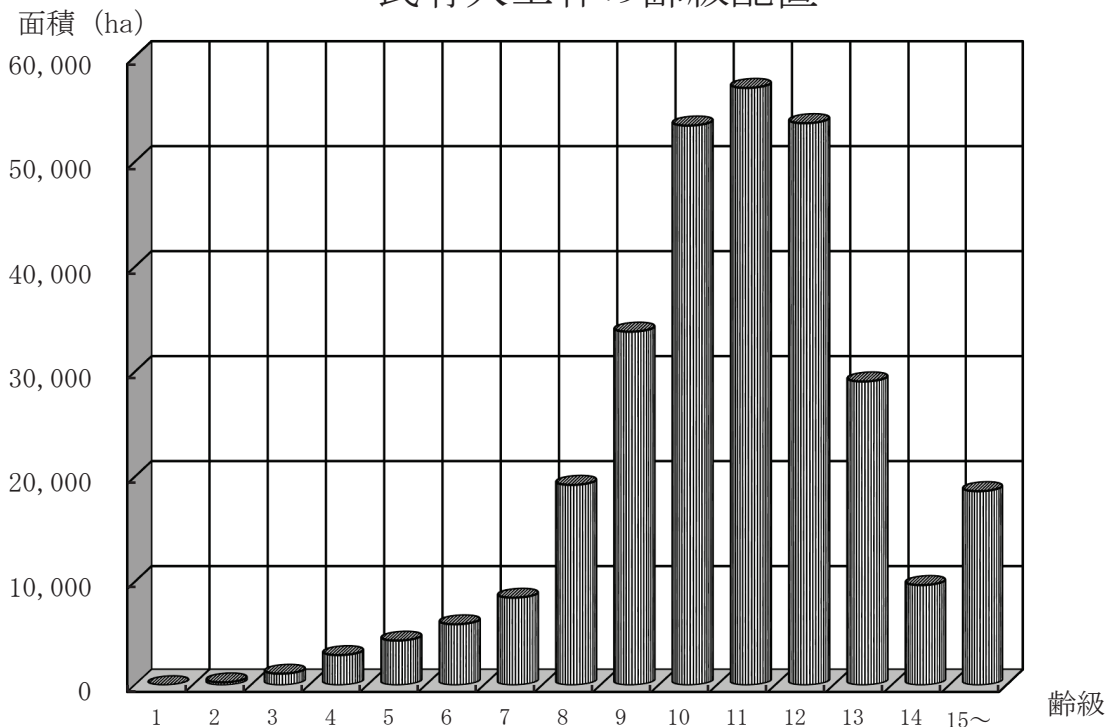
(1) 森林資源

本県は、県土の84%を林野が占める全国屈指の森林県である。

森林の蓄積量をみると国有林、民有林の合計は1億8,946万<sup>3</sup>。うち民有林が85%を占めている。民有林の人工林1haあたりの蓄積量は平成26年度(459<sup>3</sup>)と比べ7<sup>3</sup>増えて466<sup>3</sup>となり、森林資源は充実してきている。

また、民有林の人工林のうち、45年生を超える森林は74%あり、本格的な木材利用と水資源のかん養などの多面的な機能を持続的に発揮させるために、適切な森林整備を継続していく必要がある。

民有人工林の齢級配置



平成27年度

森林資源現況 (平成27年度)

区分	総数	民有林			国有林		
		計	人工林	天然林等	計	人工林	天然林等
面積(ha)	595,153	469,070	297,714	171,356	126,083	90,464	35,618
	100%	79%	(63)	(37)	21%	(72)	(28)
蓄積(千 <sup>3</sup> m)	189,456	160,255	138,797	21,458	29,201	24,580	4,621
	100%	85%	(87)	(13)	15%	(84)	(16)

[資料] 民有林：高知県森づくり推進課資料

国有林：四国森林管理局資料

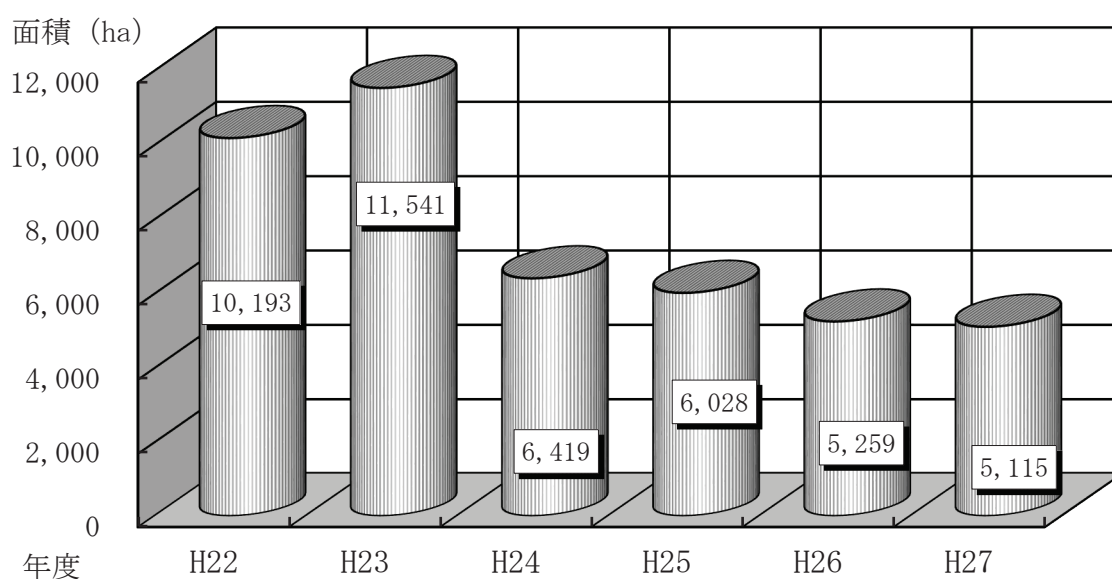
注) 内訳と計は端数処理のため、不整合の場合がある。

## (2) 森林施業

植栽から保育までの森林施業が実施され、健全な森林の造成が行われるとともに、間伐による針広混交林への誘導や長伐期林の造成など、多様な森林の整備が行われている。

森林の持つ様々な機能を発揮するために重要な除間伐の平成27年度の実行量は、5,115haとなっており、木材の搬出を主体とした間伐方法にシフトしている。

### 除間伐面積の推移



### 森林施業の実施状況

(単位: ha)

年度		H22	H23	H24	H25	H26	H27
区分							
単層林	再造林	119	125	78	65	96	86
	拡大造林	56	50	91	96	130	81
	小計	175	175	169	161	226	167
	下刈り	1,701	1,390	1,087	795	806	766
	除間伐	10,193	11,541	6,419	6,028	5,259	5,115
複層林		38	24	12	23	20	0
育成天然林		4	31	10	0	0	0

[資料] 高知県木材増産推進課

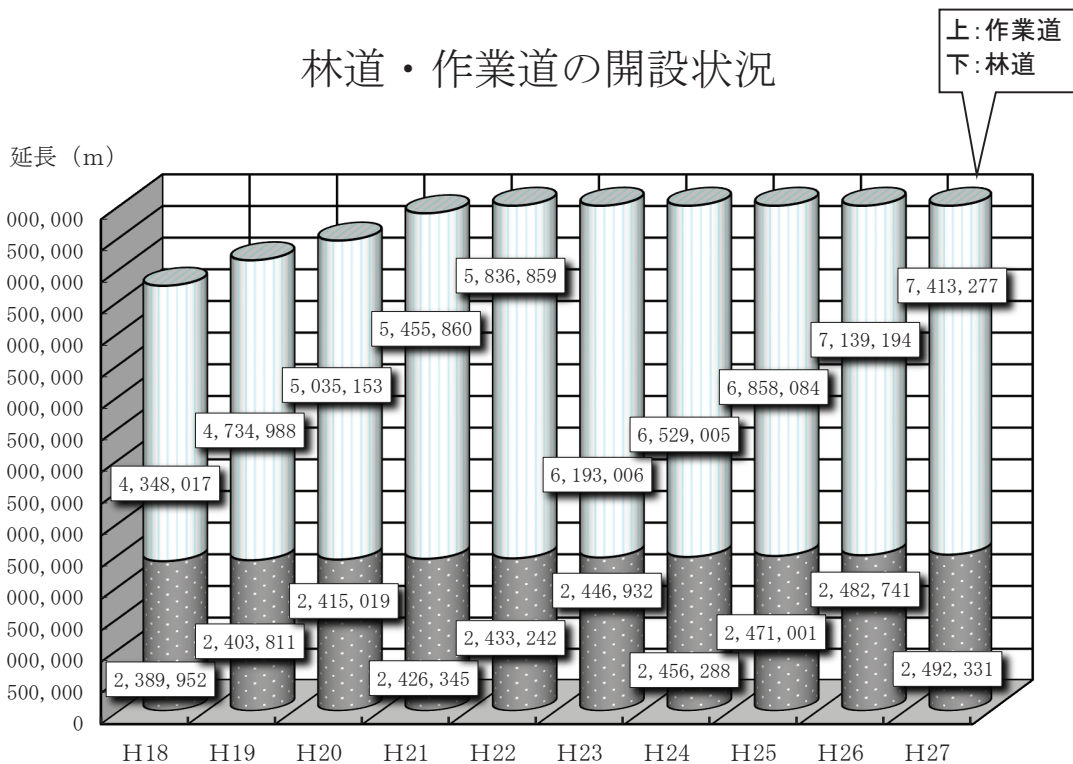
(3) 林業生産基盤

民有林林道の開設延長は2,400kmを超え、この中から市町村道や県道、あるいは国道へと転用されたものも多く、県全体の道路整備に大きく貢献している。

林道の年間開設量は、ピーク時の昭和46、47年度には100kmを超えていたが、近年は財政状況などの影響により10km程度にとどまっている。

一方、林業生産の現場では、合理的な作業システムの導入が進むなど、路網整備の必要性がますます高まっていることから、林道を補完する作業道の開設にも積極的に取り組んでいる。

作業道の開設累計は、平成27年度で7,413kmとなっている。



年度	累計延長 (km)				密度 (m/h a)		
	公道	林道	作業道	合計	林道密度	林内道路密度	林内路網密度
18	4,637	2,390	4,348	11,375	5.1	15.0	24.3
19	4,637	2,404	4,735	11,776	5.1	15.0	25.1
20	4,637	2,415	5,035	12,087	5.2	15.1	25.8
21	4,637	2,426	5,456	12,519	5.2	15.1	26.7
22	4,637	2,433	5,837	12,907	5.2	15.1	27.6
23	4,637	2,447	6,193	13,277	5.2	15.1	28.3
24	4,637	2,456	6,529	13,622	5.2	15.1	29.1
25	4,637	2,471	6,858	13,966	5.3	15.1	29.8
26	4,637	2,483	7,139	14,259	5.3	15.2	30.4
27	4,637	2,492	7,413	14,542	5.3	15.2	31.0

[資料] 高知県治山林道課

注) 端数処理のため、延長の合計は不整合。

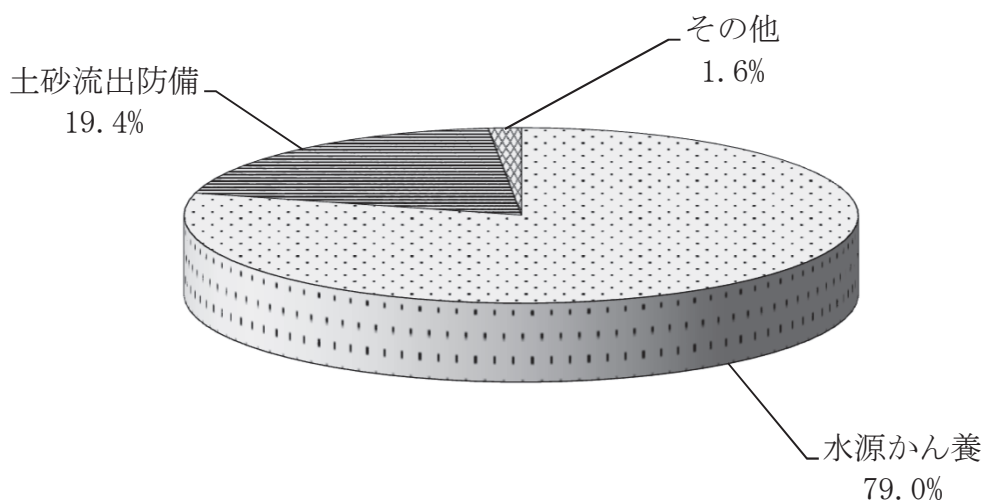
公道延長は、昭和62年度末の数値に固定とする。

(4) 保安林

県下の保安林面積は、平成27年度末現在で国有林、民有林を合わせて230,202 haとなっている。

全森林に対する保安林の割合は、約38.7%となっており、保安林種別にみると水源かん養保安林、土砂流出防備保安林の2種類で全体の約98%を占めている。

### 保安林面積



保安林面積の現況

(平成28年3月31日現在) 単位：ha、%

保安林種	国有林	民有林	計	比率	備考
水源かん養保安林	109,080	72,893	181,973	79.05	
土砂流出防備	5,780	38,821	44,601	19.37	
土砂崩壊防備	247	38	285	0.12	
飛砂防備		6	6	0.00	
防風	34	57	91	0.04	
水害防備		1	1	0.00	
潮害防備	97	118	215	0.09	
干害防備	741	313	1,054	0.46	
魚つき	369	560	929	0.41	
航行目標		16	16	0.01	
保健	466	398	864	0.38	
風致		167	167	0.07	
計	116,814	113,388	230,202	100.00	

[資料] 高知県治山林道課

(5) 森林組合

県下には、平成27年度末現在、23の森林組合があり、森林の整備や林産物の生産に取り組んでいる。

各組合とも出資金額の増額に取り組み、組合経営の健全化に努めているが、組合員の加入率の伸び悩みや作業班員の高齢化等から厳しい状況にある。今後は施業集約化の取り組みにより事業量を確保・拡大するとともに、経営基盤を強化する必要がある。

高知県森林組合連合会は、平成28年6月から南国市に本部を置くとともに、県下に9つの木材共販所を開設し、木材流通の円滑化に務め、また、広域合併に向けた指導等を通じて、単位組合の活動を支援している。

高知県森林組合連合会の概要

(単位：千円、m3)

区分		年度					
		H22	H23	H24	H25	H26	H27
正会員数		25	25	23	23	23	23
払込済出資金額		695,127	697,661	697,661	700,611	701,736	701,970
取扱共販所別	奈半利	26,282	32,143	34,024	41,740	50,464	41,393
	物部 (H16開設)	30,855	28,356	28,988	33,197	30,674	23,562
	香美 (H26開設)					563	14,971
	嶺北	57,607	71,911	82,284	61,681	65,978	78,009
	高知 (H24休止)	227	1,475	—	—	—	—
素材取扱量	本山 (H24開設)			— (取扱量なし)	18,046	17,517	23,549
	高幡	41,754	52,653	53,958	47,273	49,595	40,660
	大正 (H17開設)	6,948	11,740	12,435	12,731	13,826	17,938
	津野 (H26開設)					4,643	10,930
	幡多	42,965	46,843	52,829	44,508	51,036	48,270
	計	206,638	245,121	264,518	259,176	284,296	299,282

平成26年度から香美と津野が操業を開始した。

森林組合の概要

(単位：千円、人)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
組合数	25	25	23	23	23	23
払込済出資金額	1,906,832	1,931,504	1,991,907	2,034,586	2,043,474	2,040,935
組合員数	38,012	37,887	37,659	37,307	37,197	36,880
作業班員数	1,087	1,097	863	802	777	829

[資料] 高知県森林組合一斉調査とりまとめ

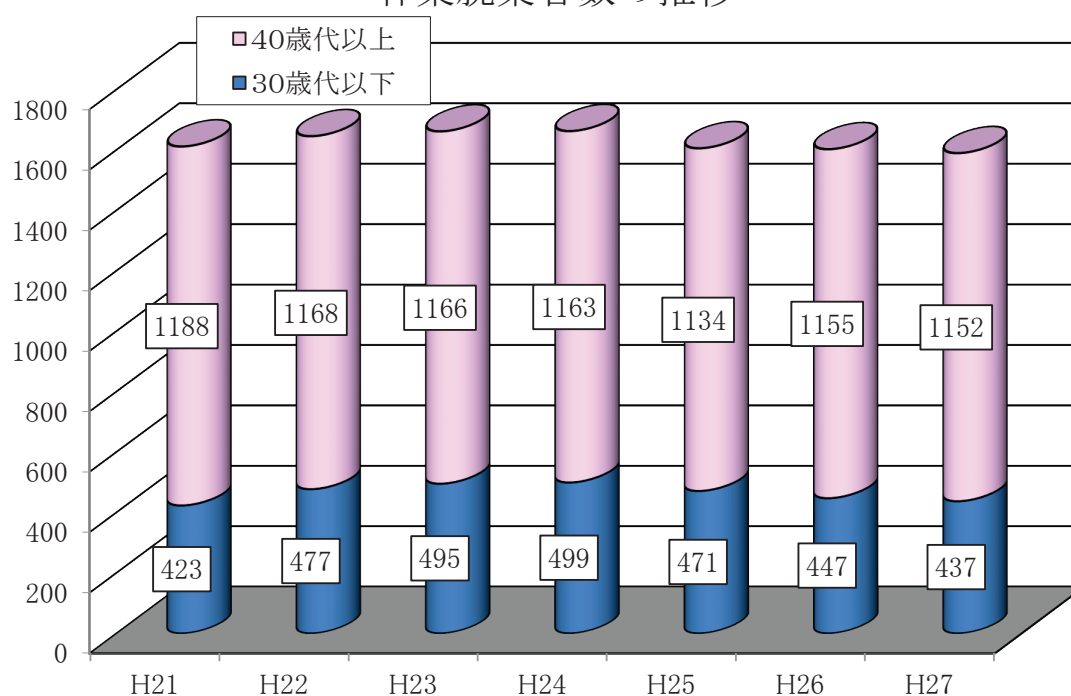
## (6) 林業労働力

林業就業者調査を昭和50年度に開始して以来、連続して減少していた就業者数は、「緑の雇用制度」などの就業支援制度に加え、雇用情報の収集・提供や林業就職相談会、林業体験学習、林業職場のPR活動などを行ってきた結果、平成18年度の1,508人を底に増加に転じ、平成24年度は1,662人となった。しかし、平成25年度は1,605人に減少し、平成27年度は1,589人と横ばいの状況となっている。

こうした状況の中、平成27年度の新規就業者は123人で、林業就業者の平均年齢は、ここ10年間で1.6歳若返り、52.1歳となっている。

また、林業就業者に占める30歳代以下の構成比は、平成3年度の6.9%を底に増加傾向にあり、平成27年度は前年度より0.4ポイント減少したものの27.5%となっている。

### 林業就業者数の推移



林業就業者数の推移

単位：人

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
10歳代	7	9	16	11	10	11	12
20歳代	200	214	198	202	182	149	130
30歳代	216	254	281	286	279	287	295
40歳代	242	226	243	255	253	249	252
50歳代	374	381	354	330	322	295	304
60歳代以上	572	561	569	578	559	611	596
合 計	1,611	1,645	1,661	1,662	1,605	1,602	1,589
平均年齢	51.2	50.3	50.1	50.3	50.7	51.8	52.1

[資料] 林産業等（労働力・機械器具）の実態調査（H15まで）

[資料] 林業労働力及び林業機械器具の実態調査（H16）

[資料] 林業労働力、林業機械器具及び素材生産量調査業務委託（H17, H18）

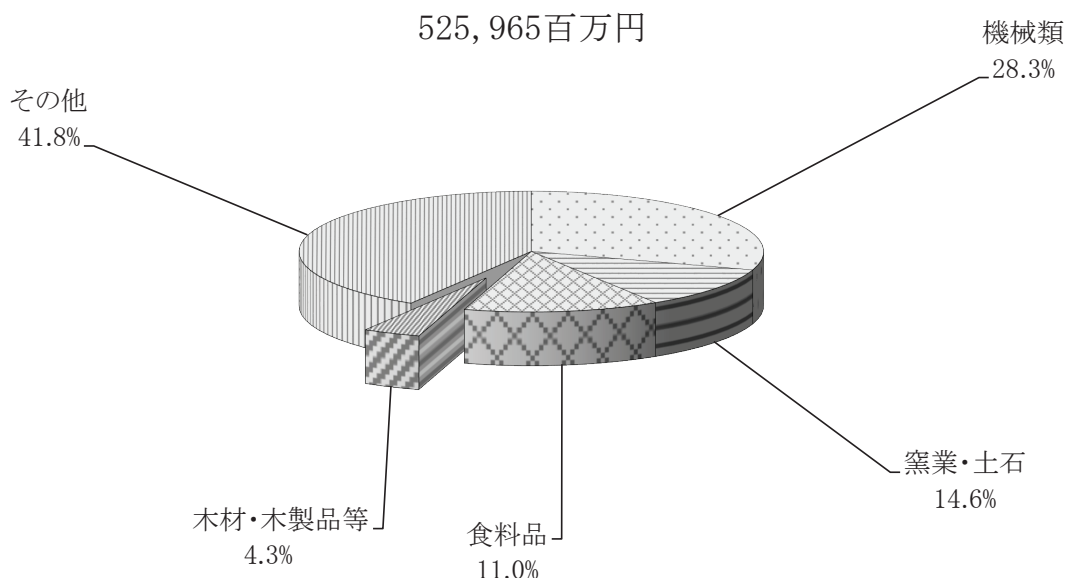
[資料] 林業労働力等調査業務委託（H19から）

(7) 木材産業

本県の木材産業は、県内の優良な森林資源を背景に製材工場を中心として、木材チップ工場、各種木工品製造工場、木材市場等が存立し、木材の加工・流通に携わっている。

平成26年の工業統計調査によれば、木材、木製品等の製造品出荷額は229億円で県内の製造品出荷額の4%を占める産業となっている。

### 製造品出荷額等



### 木材産業事業所数の推移

(単位：箇所)

区分	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	備考
製材		160	155	147	139	134	126	120	118	109	101	99	96	
木材チップ		54	52	50	48	48	44	42	40	34	32	30	33	兼業含む
木製品工業		86	82	85	79	71	66	54	48	59	54	53	19	注1
製造品出荷額(億円)		261	255	251	240	241	236	202	182	199	198	209	229	注2
木材市場(原木)		8	8	8	8	8	8	8	8	8	6	6	6	森連共販所を含む
		0	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	5	森連ストックヤード(外数)
木材市場(製品)		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	

[資料] 農林水産省 統計情報部「木材需給報告書」、高知県総務部統計課「高知県の工業」

注) 木製品工業 = (木材・木製品(家具・装備品を除く)) - (一般製材 + 木材チップ)

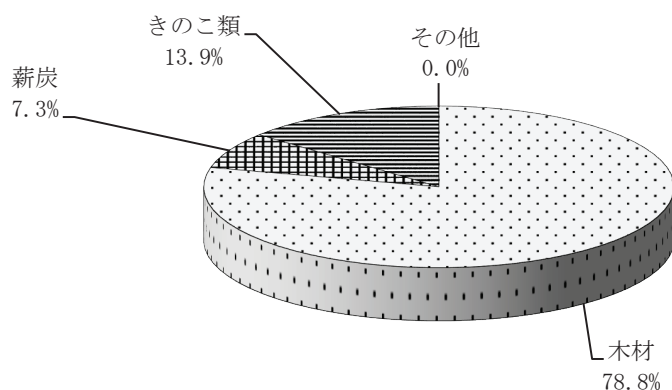
製造品出荷額 = (木材・木製品(家具・装備品を除く)) + 木製家具 + 建具

(8) 林業産出額

平成27年の林業産出額は約81億円で、前年より約13%の減少となっている。

うち約78.8%が木材生産によるものであり、平成27年次は生産量の減少に伴い木材産出額が前年より約17%減少している。また、薪炭生産については近年生産量が増加傾向にあり、薪炭産出額も堅調に推移している。

林業産出額 808千万円



林業産出額の推移

年次	木材生産		薪炭生産		きのこ類		その他	生産額計 千万円
	数量 千m3	金額 千万円	数量 t	金額 千万円	数量 t	金額 千万円	金額 千万円	
15	405	714	869	26	1,914	107	1	848
16	420	647	882	26	2,073	125	0	798
17	425	591	829	26	2,061	103	0	720
18	446	620	560	15	1,872	95	0	730
19	429	536	659	20	2,024	98	0	655
20	418	493	784	26	1,971	96	1	616
21	420	419	870	29	2,016	99	0	547
22	404	459	857	29	2,422	125	0	614
23	507	580	889	31	2,786	134	3	749
24	465	469	1068	38	2,488	119	0	627
25	495	560	1303	48	2,537	123	-	732
26	610	764	1351	52	2,435	111	-	928
26	610	764	1351	52	2,435	111	-	929
27	524	637	1297	59	2,321	112	0	808

[資料] 農林水産統計「平成27年林業産出額」、高知県木材産業振興課

(注1) 平成27年の木材生産の数量・金額には、木質バイオマス関連施設の原木入荷量を含まない。

(注2) 表中の”0”は、単位に満たないもの(例:0.4千万円→0千万円)を示す。



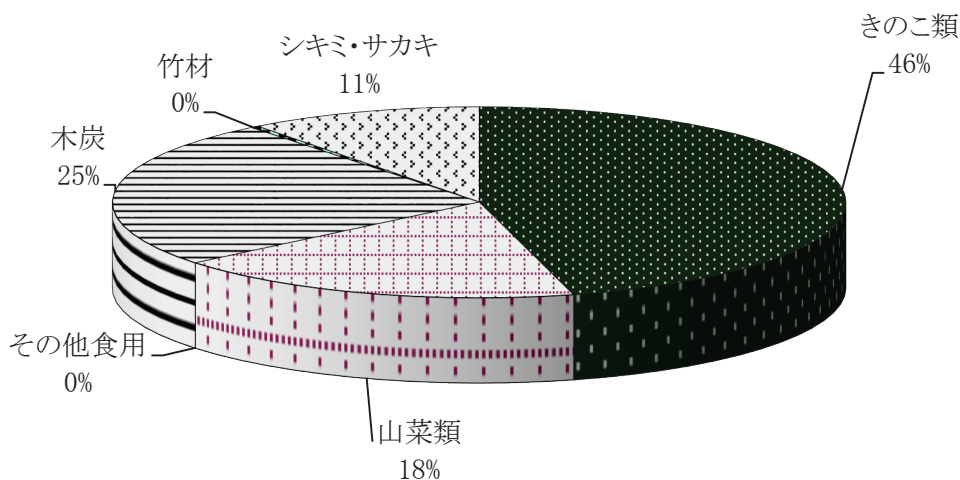
(9) 特用林産

県内では、食用きのこ類（しいたけ、えのきたけ、ぶなしめじ等）、山菜類（たけのこ、いたどり、ふき等）、果樹類（くり等）、木炭、竹材、特用樹（シキミ、サカキ）等の多彩な特用林産物が生産されており、中山間農林家にとって重要な現金収入源となっている。

しかしながら、特用林産物を取り巻く状況は、安価な輸入品の増加による価格の下落により、経営状況は厳しく、担い手不足とも相まって、生産量は減少傾向となっている。

### 特用林産物生産額

2,336百万円



特用林産物生産の推移

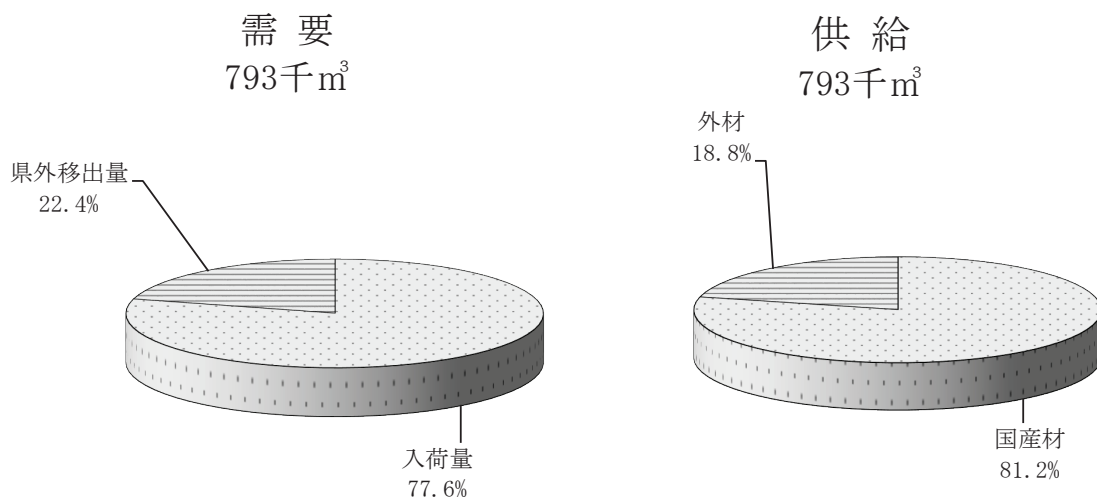
年次		単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27 生産額 (百万円)		
食用	きのこ類	乾しいたけ	t	23	28	25	30	23	22	90	
		生しいたけ	t	467	459	431	410	305	307	295	
		なめこ	t	0.4	0.7	0.4	0.4	0.04	0.01	0.00	
		えのきたけ	t	396	400	391	429	401	396	133	
		ひらたけ	t	49	20	64	52	42	28	15	
		ぶなしめじ	t	1,379	1,764	1,447	1,492	1,564	1,545	519	
		まつたけ	t	0.2	1.5	0.1	0.1	0.04	0.1	4	
		エリンギ	t	106	109	129	123	100	22	11	
		その他	t	-	12	-	-	-	1	1	
		食用	山菜類	たけのこ	t	364	454	513	190	283	322
わさび	t			20	30	49	47	46	47	39	
わらび	t			19	23	20	19	20	18	8	
ぜんまい	t			19	20	20	22	21	20	113	
うど	t			10	-	13	13	12	11	7	
たら	t			4	2	3	2	3	3	11	
いたどり	t			30	-	32	24	29	30	22	
ふき	t			57	19	9	11	17	16	2	
その他	t			-	0.8	-	-	-	-	-	-
非食用	その他			くり	t	54	44	44	33	20	18
		オウレン	kg	-	-	-	-	-	-	-	
		キハダ	kg	-	-	-	-	-	-	-	
		その他	t	47	79	55	27	-	-	-	
非食用	木炭	炭	t	857	889	1,068	1,303	1,351	1,297	588	
		竹材	千束	18	13	15	11	12	10	8	
		シキミ	t	267	263	218	220	208	194	153	
		サカキ	t	68	64	56	55	76	77	88	
									2,336		

[資料] 高知県木材産業課資料

(10) 木材需給

本県の木材（素材）需要量は、平成27年次において793千 $m^3$ となっており、製材用（411千 $m^3$ ）が全体の約52%を占め、県外移出用（178千 $m^3$ ）は22%となっている。

供給面では、国産材が全体の81%に相当する644千 $m^3$ を賄っている。供給の19%を占める外材の99%は、ニュージーランド材となっており、他県にみられない特色となっている。



木材需給実績

単位：千 $m^3$

年次	需 要						移 出	供 給			国産材率 (%)
	総 数	消 費 (入 荷)						総 数	国産材	外 材	
		計	製 材	木材チップ	合板	木質バイオマス					
H15	681	578	494	X	X		103	681	450	231	66.1
H16	704	596	507	X	X		108	704	466	238	66.2
H17	697	586	494	X	X		111	697	466	231	66.9
H18	709	598	495	X	X		111	709	483	226	68.1
H19	697	600	497	X	X		97	697	477	220	68.4
H20	692	581	469	X	X		111	692	466	226	67.3
H21	585	476	340	136	-		109	585	468	117	80.0
H22	613	497	387	110	-		116	613	442	171	72.1
H23	713	542	370	172	-		171	713	554	159	77.7
H24	661	510	356	154	-		151	661	505	156	76.4
H25	696	532	378	154	-		164	696	543	153	78.0
H26	828	656	426	230	-		172	828	653	175	78.9
H27	793	615	411	136	-	68	178	793	644	149	81.2

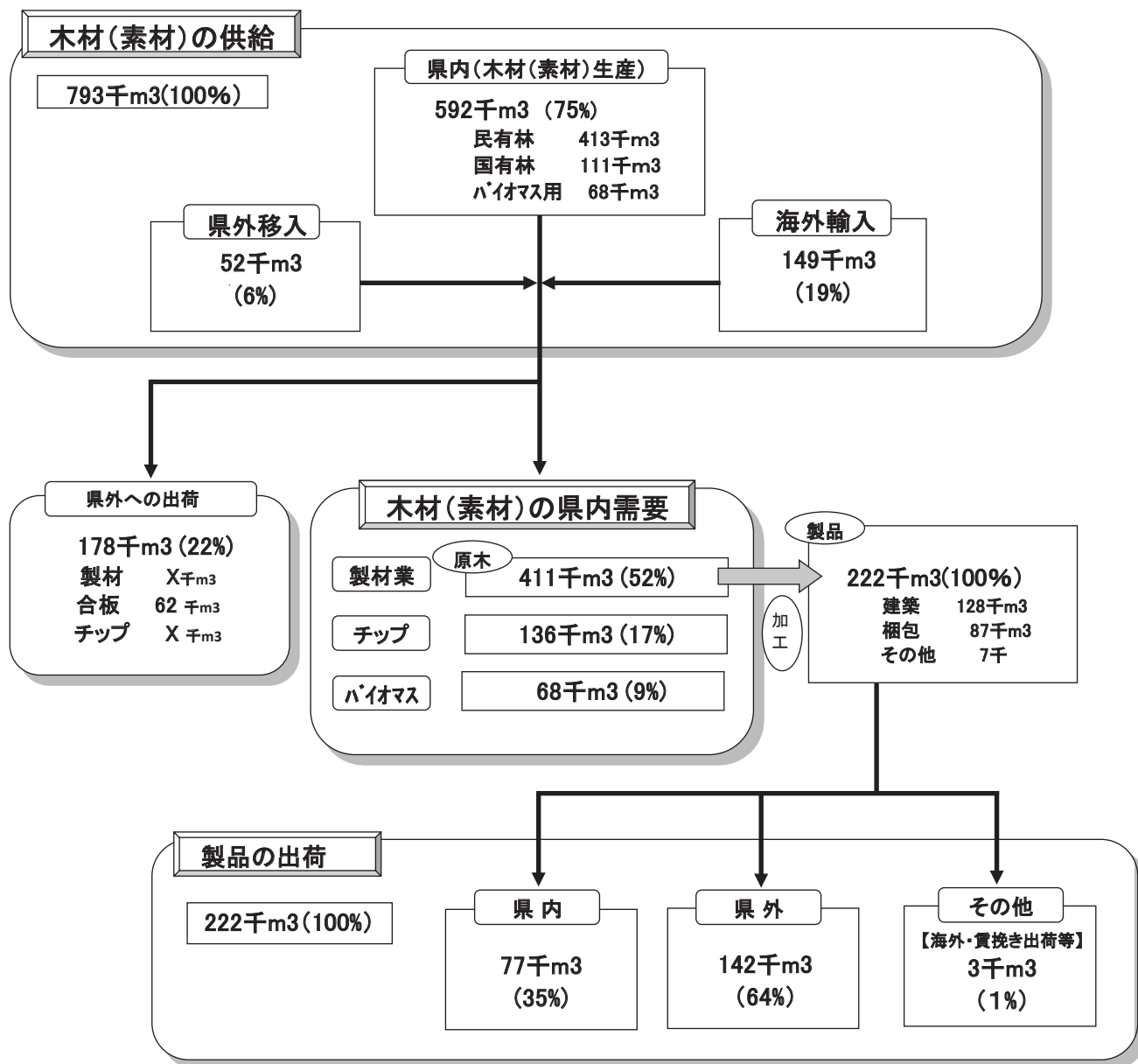
【資料】農林水産省 統計情報部「木材需給報告書」、高知県木材産業振興課  
 注) 「X」は未公表のもの、「-」は消費なしを表す。  
 木質バイオマス関連施設の原木入荷量 (H27～)

(11) 高知県における木材流通の現況 (平成27年次)

県内への木材(素材)供給量は793千m<sup>3</sup>となっており、内訳は県内の木材(素材)生産による出荷が75%を占め、県外からの入荷が6%、海外からの輸入が19%となっている。

一方、木材(素材)の需要量793千m<sup>3</sup>の内訳は、県内製材業の製品生産が52%を占め、県内のチップ等の生産が17%、県内木質バイオマス施設での利用が9%、県外への出荷が22%となっている。

県内で生産された製品の222千m<sup>3</sup>については、35%が県内の製品市場等に出荷され、64%が県外へと出荷されている。

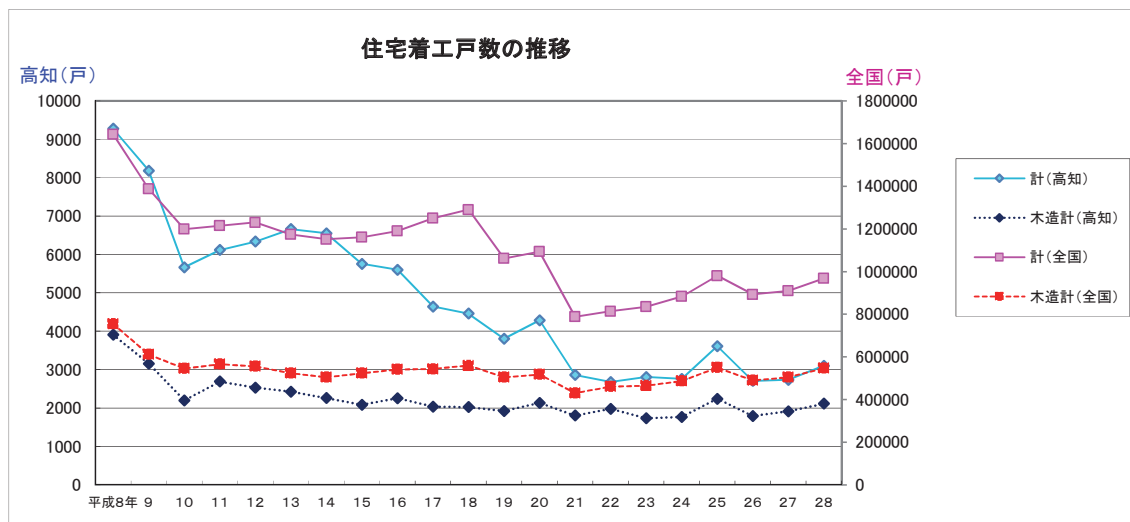


資料:農林水産省統計部「平成27年木材統計」「平成27年木材需給報告書」

注) "x"は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

(12) 新設住宅着工数の推移

平成28年の全国住宅着工戸数は、96万戸超と前年を大きく上回り、消費増税前の平成25年並みとなった。本県の住宅着工数も3,098戸と前年に比べて約11%増加している。また、本県の一戸建住宅の着工戸数は1,836戸で、木造率は92%と、全国平均の89%に比べて3%上回っている。



年次	区分	高知県				全国			
		木造計	非木造	計	木造率	木造計	非木造	計	木造率
		(戸)	(戸)	(戸)	(%)	(戸)	(戸)	(戸)	(%)
H16	全体	2,255	3,343	5,598	40	540,756	648,293	1,189,049	45
	一戸建	2,008	555	2,563	78	432,614	82,096	514,710	84
H17	全体	2,035	2,607	4,642	44	542,859	648,293	1,191,152	43
	一戸建	1,811	546	2,357	77	419,519	76,523	496,042	85
H18	全体	2,024	2,435	4,459	45	559,008	730,824	1,289,832	43
	一戸建	1,878	549	2,427	77	426,605	76,120	502,725	85
H19	全体	1,922	1,881	3,803	51	504,546	556,195	1,060,741	48
	一戸建	1,599	404	2,003	80	379,895	65,736	445,631	85
H20	全体	2,133	2,151	4,284	50	516,875	576,644	1,093,519	47
	一戸建	1,560	324	1,884	83	377,849	63,678	441,527	86
H21	全体	1,802	1,058	2,860	63	430,121	358,289	788,410	55
	一戸建	1,424	276	1,700	84	327,786	54,234	382,020	86
H22	全体	1,979	701	2,680	74	460,134	352,992	813,126	57
	一戸建	1,610	261	1,871	86	364,817	57,090	421,907	86
H23	全体	1,732	1,075	2,807	62	464,837	369,280	834,117	56
	一戸建	1,645	264	1,909	86	371,874	56,816	428,690	87
H24	全体	1,770	991	2,761	64	486,755	396,042	882,797	55
	一戸建	1,652	221	1,873	88	382,944	56,644	439,588	87
H25	全体	2,238	1,374	3,612	62	549,971	429,712	979,683	56
	一戸建	2,000	244	2,244	89	436,404	59,334	495,738	88
H26	全体	1,791	915	2,706	66	489,463	402,798	892,261	55
	一戸建	1,648	175	1,823	90	369,620	47,548	417,168	89
H27	全体	1,912	822	2,734	70	504,318	404,981	909,299	55
	一戸建	1,620	150	1,770	92	367,374	47,134	414,508	89
H28	全体	2,114	984	3,098	68	546,336	420,901	967,237	56
	一戸建	1,680	156	1,836	92	386,116	47,243	433,359	89

資料：住宅着工統計（国土交通省）

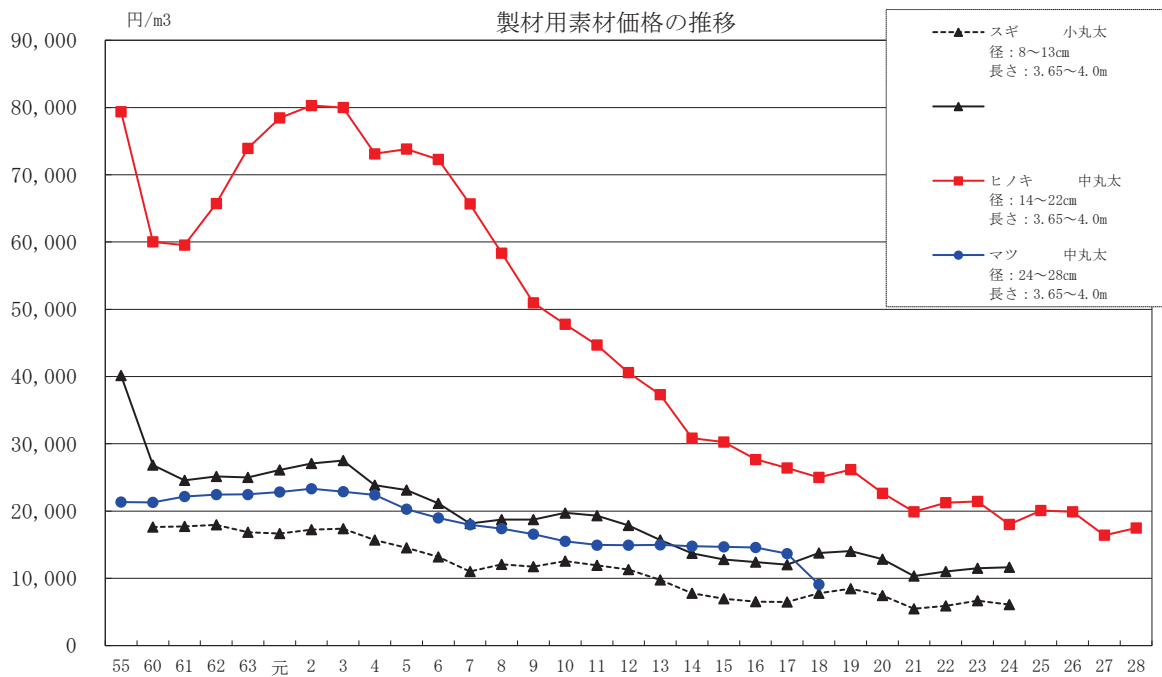
注）「全体」・・・アパート、マンション等の共同住宅、戸建ての住宅の総数

「一戸建」・・・一つの建物が1住宅であるもの

20年、21年、22年の全国の数値については、国土交通省HPより数値の訂正があり、訂正後の数値

(13) 木材価格

原木価格は昭和55年頃をピークに長期に渡って下落傾向が続いており、ピーク時のスギ48,100円、ヒノキ88,100円と比べると約20%の価格にまで落ち込んでいるが、近年は下落傾向に歯止めがかかりつつある。



製材用素材価格の推移

単位：円/m<sup>3</sup>

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
スギ 小丸太 径：8～13cm 長さ：3.65～4.0m	6,500	7,800	8,400	7,500	5,500	5,900	6,700	6,100				
	12,000	13,800	14,000	12,900	10,300	11,000	11,500	11,600				
ヒノキ 中丸太 径：14～22cm 長さ：3.65～4.0m	26,400	25,000	26,200	22,700	19,900	21,300	21,500	18,000	20,100	19,900	16,400	17,500
マツ 中丸太 径：24～28cm 長さ：3.65～4.0m	13,700	9,100										

〔資料〕農林水産省 大臣官房 統計部 「農林水産統計－木材価格」

注) 「農林水産統計－木材価格」が修正されたため20年、21年データを修正した。

18、19年の「木材需給報告書」について、木材価格に修正報告があり訂正している。

高知県のスギ小丸太、中丸太の価格は、平成25年1月より調査対象から外れている。

木材産業振興課調査によるスギ小丸太、中丸太の価格は、下表のとおり。

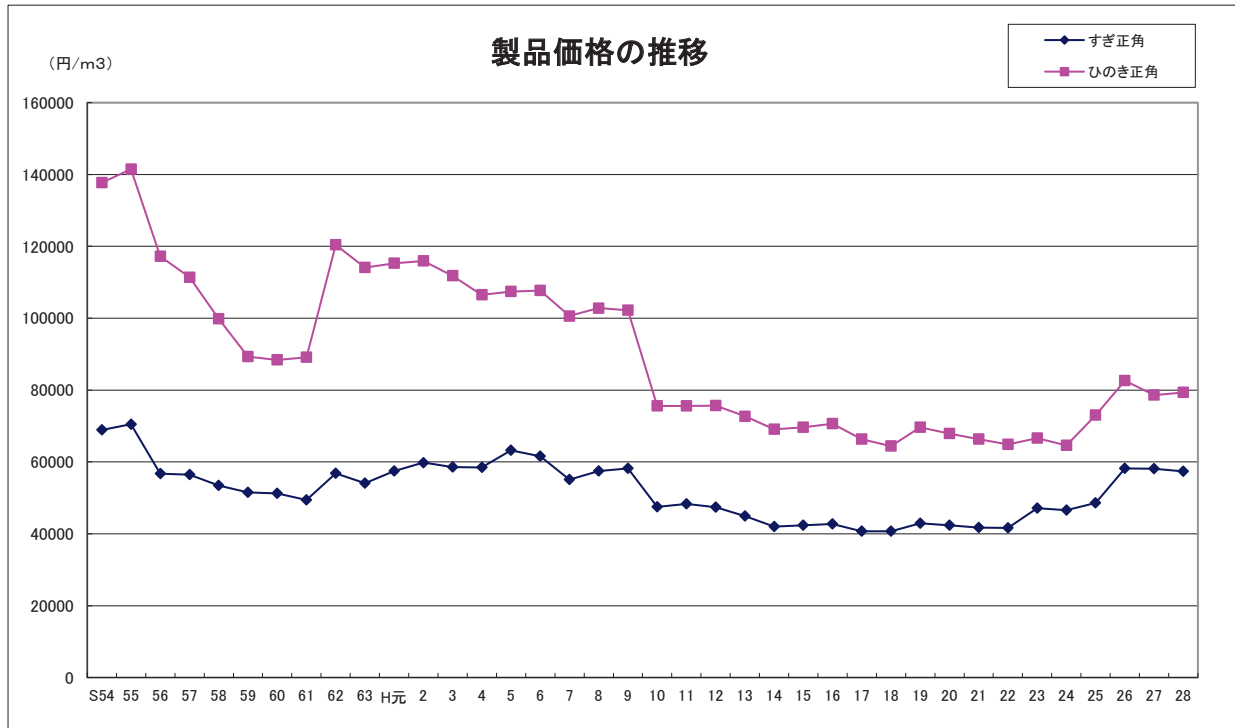
〔参考〕スギ製材用素材価格の推移（木材産業振興課資料）

単位：円/m<sup>3</sup>

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
スギ 小丸太 径：～12cm 長さ：4.0m	7,000	7,800	6,700	7,100	5,300	6,100	6,700	6,600	6,900	8,200	9,000	9,700
	12,600	12,500	12,000	12,100	10,500	10,600	10,600	10,600	11,200	12,500	12,400	12,100

(14) 製品価格の推移（全国）

全国の製品価格は昭和55年をピークとして、下落し、長期に渡って低迷しているが、ここ数年はほぼ横ばいとなっている。スギについてはピーク時の価格（70,500円）に比べて約81%の価格（57,400円）になっているのに対し、ヒノキについてはピーク時の価格（141,500円）に比べて約56%の価格（79,300円）となっている。



単位：円/m3

年次	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
すぎ正角 厚:10.5cm, 幅:10.5cm, 長:3.0m	40,700	42,900	42,400	41,700	41,600	47,100	46,600	48,600	58,200	58,100	57,400
ひのき正角 厚:10.5cm, 幅:10.5cm, 長:3.0m	64,400	69,600	67,900	66,300	64,900	66,600	64,600	73,000	82,600	78,600	79,300

資料：農林水産省統計部 「農林水産統計－木材価格」

注) 「農林水産統計－木材価格」が修正されたため20年、21年データを修正した。

18、19年の「木材需給報告書」について、木材価格の修正報告があり、訂正している。

「農林水産統計－木材価格」が修正されたため23年「すぎ正角」のデータを修正した。

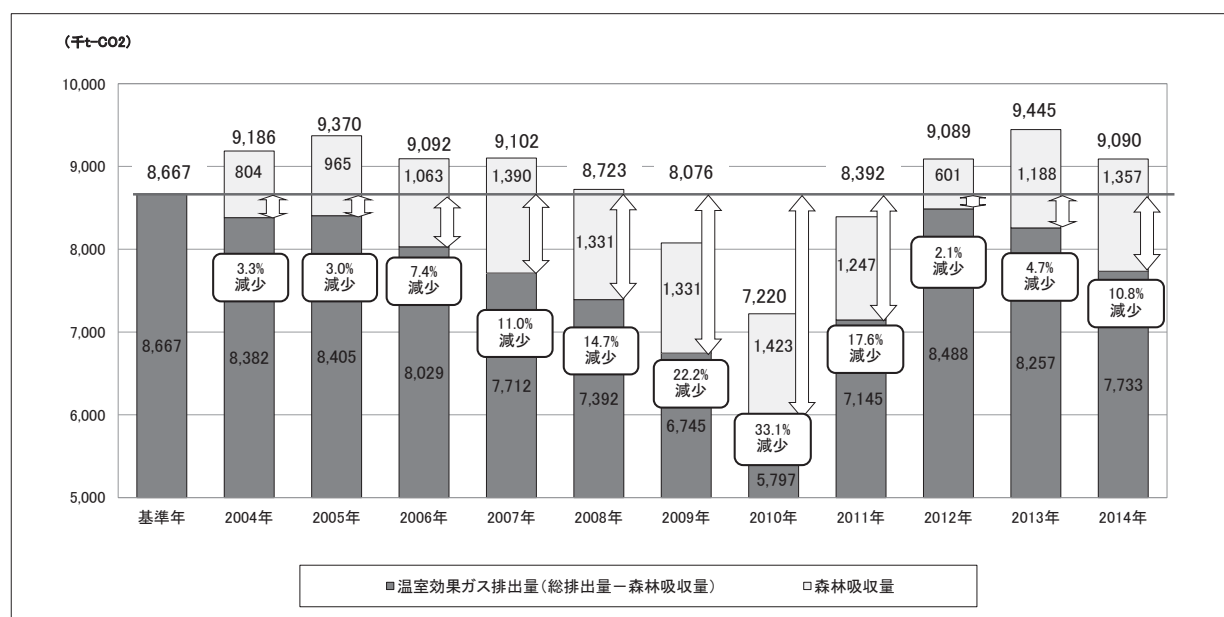
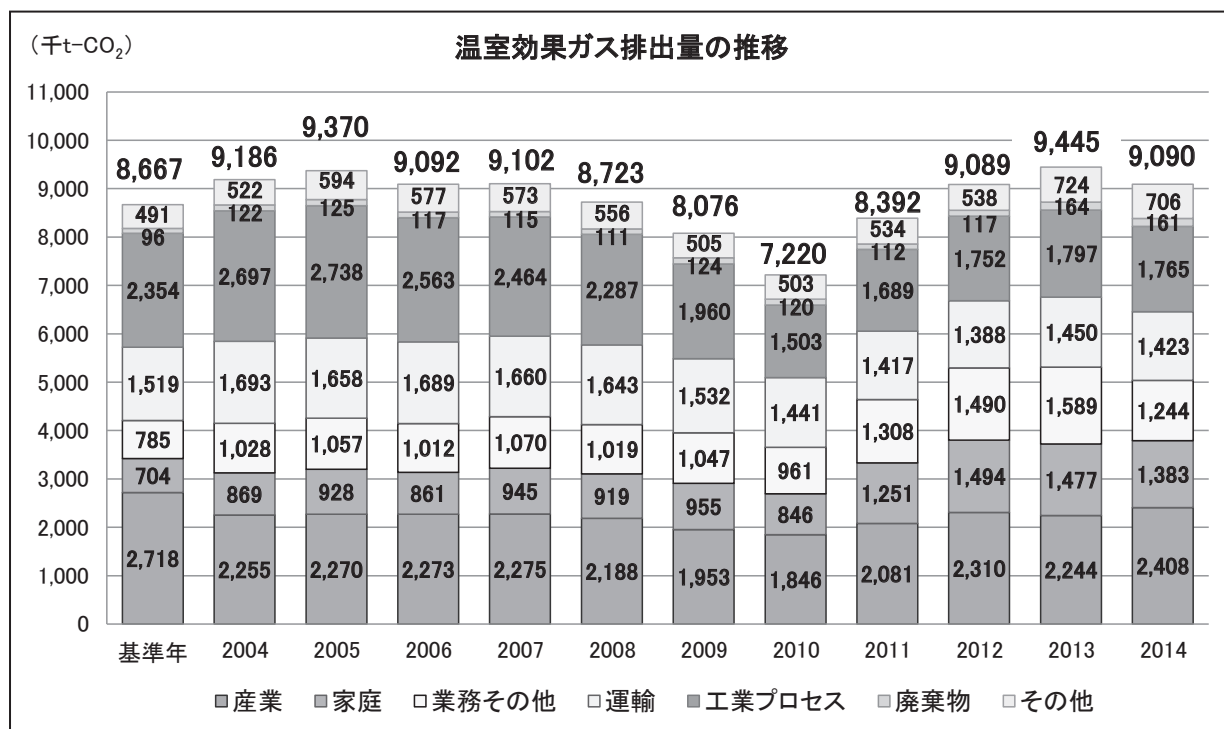
(15) 全国に占める高知県林業の地位

項目	単位	年	全国	高知県	対全国比% 高知県/全国	全国 順位	上位3位			出典	
							1位	2位	3位		
総土地面積	千ha	H26年度	37,797	710	1.9	18	北海道	岩手県	福島県	全国都道府県市区町村別面積調	
森林資源	森林面積	千ha	H23年度	25,081	597	2.4	11	北海道	岩手県	長野県	林野庁計画課調べ
	森林面積率	%	H23年度	67	84	—	1	高知県	岐阜県	長野県	林野庁計画課調べ
	民有林面積	千ha	H23年度	17,407	471	2.7	10	北海道	岩手県	長野県	林野庁計画課調べ
	国有林面積	千ha	H23年度	7,674	126	1.6	15	北海道	福島県	青森県	林野庁計画課調べ
	人工林面積	千ha	H23年度	10,289	390	3.8	5	北海道	岩手県	長野県	林野庁計画課調べ
	人工林率	%	H23年度	41	65	—	2	佐賀県	高知県	愛知県	林野庁計画課調べ
	保安林面積	万ha	H26年度	1,289	23	1.8	13	北海道	長野県	岩手県	林野庁治山課調べ
林家・労働者・事業体	林家数	戸	H27年度	828,973	20,371	2.5	17	岩手県	広島県	福島県	農林業センサス
	林業経営体数	経営体	H27年度	87,284	2,128	2.4	15	北海道	岩手県	岐阜県	農林業センサス
	森林組合数	組合	H26年度	631	23	3.6	2	北海道(80)	和歌山県(23)	高知県(23)	森林組合統計
	森林組合雇用労働者数	人	H26年度	18,439	777	4.2	3	北海道	熊本県	高知県	森林組合統計
	林業就業者数	人	H27年度	—	1,589	—	—	—	—	—	高知県林業労働力等調査
	製材工場数	工場	H27年次	5,205	96	1.8	29	岐阜県	三重県	静岡県	平成27年木材統計
生産額・生産量	生産林業所得	千万円	H26年次	24,082	487	2.0	15	長野県	北海道	宮崎県	平成26年林業産出額
	林業産出額	千万円	H26年次	44,777	928	2.1	15	長野県	北海道	新潟県	平成26年林業産出額
	素材生産量	千m <sup>3</sup>	H27年次	—	592	—	—	—	—	—	木材産業振興課
	(木質バイオマス関連施設用を除く)	千m <sup>3</sup>	H27年次	20,049	524	2.6	12	北海道	宮崎県	岩手県	平成27年木材統計
	うち民有林生産量	千m <sup>3</sup>	H27年次	—	413	—	—	—	—	—	木材産業振興課
	杉 <sup>ノ</sup> 生産量	千m <sup>3</sup>	H27年次	11,226	308	2.7	12	宮崎県	秋田県	大分県	平成27年木材統計
	ヒノキ生産量	千m <sup>3</sup>	H27年次	2,634	192	8.1	3	岡山県	愛媛県	高知県(23)	平成27年木材統計
	広葉樹生産量	千m <sup>3</sup>	H27年次	2,236	21	0.9	20	北海道	岩手県	広島県	平成27年木材統計
	木炭生産量	t	H27年次	18,210	1,297	7.1	4	岩手県	島根県	北海道	平成27年特用林産生産統計調査
	生椎茸生産量	t	H27年次	68,285	307	0.4	37	徳島県	北海道	岩手県	平成27年特用林産生産統計調査
乾椎茸生産量	t	H27年次	2,631	29	1.1	10	大分県	宮崎県	熊本県	平成27年特用林産生産統計調査	
製造品出荷額等(一般製材)	億円	H26年次	6509.1	143.7	2.2	15	広島県	北海道	宮崎県	平成26年工業統計	
需要	新設住宅着工戸数	戸	H28年次	967,237	3,098	0.3	46	東京都	神奈川県	大阪府	住宅着工統計
	木造数	戸	H28年次	546,336	2,114	0.4	45	東京都	神奈川県	埼玉県	住宅着工統計
	木造率	%	H28年次	56	68	—	25	山形県	秋田県	青森県	住宅着工統計
基盤整備	民有林林道(自動車道)現況	km	H27年度	94,554	2,422	2.6	—	—	—	—	治山林道課
	民有林林道(自動車道)密度	m/ha	H27年度	5.5	5.2	—	—	—	—	—	治山林道課

(16) 温室効果ガス排出量の推移

基準年（1990年度）から2014（平成26）年度にかけての本県の温室効果ガス総排出量の推移については、次のグラフのとおりです。

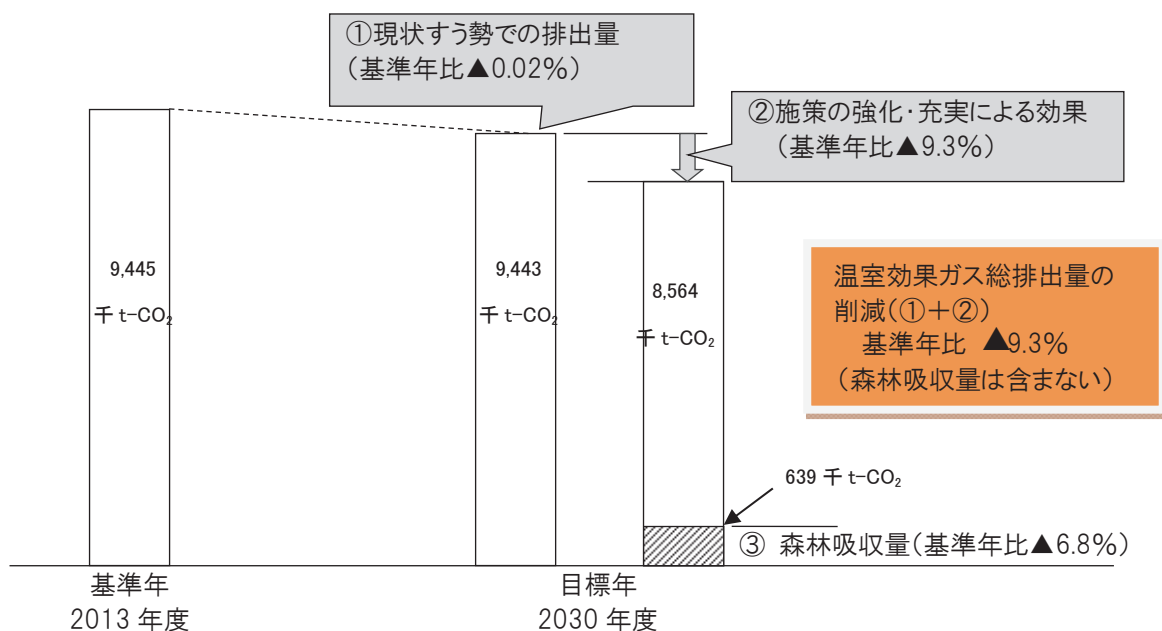
- ・2014（平成26）年度の排出量は9,090千t-CO<sub>2</sub>であり、基準年と比べると4.9%増加しています。
- ・産業部門及び運輸部門並びに工業プロセスでは基準年の排出量から減少しているものの、家庭部門、業務その他部門、廃棄物及びその他は、基準年の排出量から増加しています。
- ・森林吸収量を算入した場合の温室効果ガス排出量は、2004（平成16）年以降、基準年の排出量を下回っており、2014（平成26）年には基準年比10.8%減少となっています。





(参考: 高知県の温室効果ガス排出量の削減目標)

※「高知県地球温暖化対策実行計画(H29.3 策定)」から抜粋



◆ 温室効果ガス総排出量の削減(上記①+②) : 9.3%

◆ 森林吸収量による削減(上記③) : 6.8%

$$\text{①}+\text{②}+\text{③} \doteq 16\%$$

高知県の 2030 年度の温室効果ガス排出量を基準年(2013 年度)より16%削減する(電気の CO<sub>2</sub> 排出係数固定ベース)

※国が「長期エネルギー需給見通し」で定めた 2030 年度の電源構成が実現した場合の電気の CO<sub>2</sub> 排出係数(電気事業低炭素社会協議会の目標値:0.37 kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いて上記の削減目標を算定すると、高知県の温室効果ガス削減目標は30%削減となる。

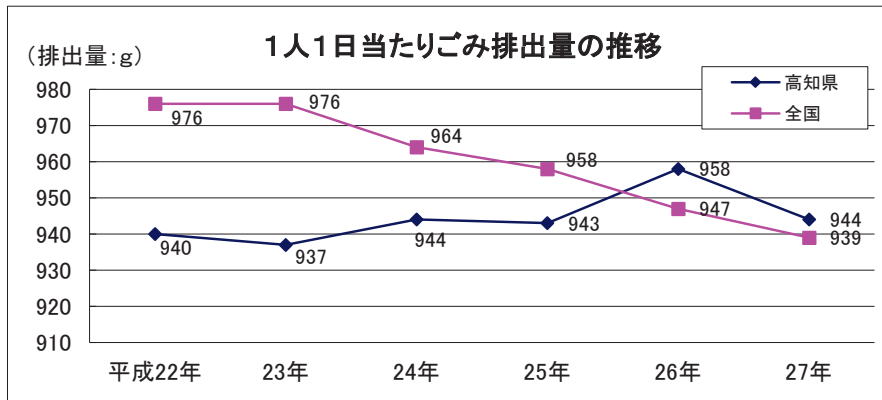
[資料] 高知県新エネルギー推進課

(17) ごみ処理の状況

平成27年度のごみの総排出量は255,716tで、前年度に比べ5,579t減少している。また、1人1日当たりの排出量は、944gとなっている。平成27年度におけるごみの処理状況は、直接焼却処理が209,094t(81.5%)、焼却以外の中間処理34,516t(13.4%)、直接埋立3,943t(1.6%)、直接資源化7,756t(3.0%)、自家処理308t(0.1%)、集団回収による資源化1,081t(0.4%)となっている。

ごみ処理に係る経費は約127億円で、施設の建物改良費約37億円、処理費に要する費用等約90億円が支出されており、県民1人当たりの年間ごみ処理経費でみると、11,099円となっている。

全市町村で、ごみの分別収集など、資源化に積極的に取り組んでおり、県民の環境意識も高くなってきている。平成27年度高知県におけるリサイクル率は21.9%(全国20.4%)である。



※ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量

ごみ処理の状況

ごみ処理の方法	(H26年度)		(H27年度)	
	処理量(t/年)	割合(%)	処理量(t/年)	割合(%)
直接焼却処理	212,534	81.1%	209,094	81.5%
焼却以外の中間処理	35,377	13.5%	34,516	13.4%
直接埋立	4,737	1.8%	3,943	1.6%
直接資源化	7,887	3.0%	7,756	3.0%
自家処理	319	0.1%	308	0.1%
集団回収による資源化	1,347	0.5%	1,081	0.4%
計	262,201	100.0%	256,698	100.0%

リサイクルの状況 (H27年度)

分類	処理量(t/年)	割合(%)
紙類	10,840	19.7%
金属類	6,804	12.3%
ガラス類	4,028	7.3%
ペットボトル	709	1.3%
プラスチック類	3,656	6.6%
その他	29,069	52.8%
計	55,106	100.0%
上記とは別に、学校、町内会等により集団回収されたもの	1,081	—

ごみ処理に係る経費 (H27年度)

経費の内容	県内の総額	県民1人当たり	割合(%)
ごみ処理施設建設改良費	37億7,655万円	5,103円	29.7%
ごみ処理経費	82億1,436万円	11,099円	64.5%
その他の経費	7億4,042万円	1,000円	5.8%
計	127億3,133万円	17,202円	100.0%

[資料] 環境省 一般廃棄物処理実態調査